

## 宇宙開発の現状報告

(平成 19 年 11 月 14 日(水) ~ 平成 19 年 11 月 27 日(火))

平成 19 年 11 月 28 日  
宇宙開発委員会事務局

### 宇宙開発に関する海外の動向

11 月 19 日(月)

- プロトン M/ブリーズ M ロケット、商業通信衛星の打上げに成功  
【米、露】

11 月 17 日(土)22 時 39 分(世界標準時)、インターナショナル・ロンチ・サービス(ILS)社は、バイコヌール宇宙基地より、プロトン M/ブリーズ M ロケットを打ち上げ、SES シリウス社の商業通信衛星「シリウス 4(SIRIUS-4)」の所定の軌道投入に成功した。打上げ時の質量は 4,385 kg。

11 月 21 日(水)

- ASI と DLR、宇宙活動における協力促進の枠組み協定を締結  
【伊、独】

11 月 20 日(火)、イタリア宇宙機関(ASI)は、ドイツ航空宇宙センター(DLR)との宇宙活動分野における協力の促進に関する枠組み協定に署名したと発表した。同協定では、通信分野、

- 韓国科学技術部、宇宙開発ロードマップを策定【韓】

11 月 20 日(火)(現地時間、以下同)、韓国科学技術部は、6 月 20 日に策定された宇宙開発振興基本計画のもと、宇宙開発プログラムの詳細目標、実施時期等を具体化した宇宙開発プロジェクト詳細ロードマップを決定したと発表した。同ロードマップは、衛星・打上げロケット・宇宙探査・衛星利用の 4 分野からなり、10 年以上にわたる宇宙開発プログラムの長期的な詳細計画である。なお、同ロードマップは今後、年度別の細部実施計画として具体化・実施される予定。

#### 【宇宙開発ロードマップの概要】

1. 衛星
  - ・ 低軌道周回科学衛星「STsat-3」(2010 年打上げ予定)、3~4 年間隔での小型衛星(100 kg 級)の打上げ、毎年 2 機程度の小型衛星(1~10 kg)の開発
2. 打上げロケット
  - ・ 2008 年までに小型衛星打上げ用ロケット「KSLV-1」(170 トン級)の開発及び打上げ。それに続く KSLV(300 トン級)の自国による開発
3. 宇宙探査
  - ・ 2020 年に月探査衛星 1 号(周回機)の打上げ
  - ・ 2025 年に月探査衛星 2 号(月面着陸を含む)の打上げ
4. 衛星利用
  - ・ 衛星航法システム(GNSS)の構築に必要な基盤作り及び革新的技術開発